

令和8年度 道徳教育の全体計画

北海道釧路東高等学校

関係法規等
<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本国憲法 ○ 教育基本法 ○ 学校教育法 ○ 学習指導要領 ○ 高等学校学習指導要領 ○ いじめ防止対策推進法 等

スクール・ミッション
<p>集団生活や特別活動等を通じて、 コミュニケーション能力や人間性を身に付けた生徒の育成</p>
校訓
<p>○自主協調 ○創意実践 ○進取澆刺</p>
学校教育目標
<p>何ごと大切にし まわりから大切にされる人を育てる～自他を価値ある存在として尊重し、ウェルビーイングの実現に貢献する生徒の育成～</p>

北海道が目指す教育の基本理念
<p>【北海道教育推進計画】 [自立] 自然豊かな北の大地で、世界を見つめ、自立の精神にあふれ、自らの夢に挑戦し、実現していく人を育む [共生] ふるさとへの誇りと愛着を持ち、これからの社会に貢献し、共に支え合う人を育む</p>

研修の方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の実態把握及び重点目標の共通理解を図り実践するとともに、検証に基づき指導方法の改善のための研修を行う。 ○ 取組の成果と課題の整理、次年度に向けての重点目標の見直しを行う。

道徳教育の重点目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 思いやりの心を持ち、他者への配慮ができる生徒を育成する。 ○ 人間としての在り方生き方を考察し、自己実現を目指す生徒を育成する。 ○ 望ましい勤労観、職業観を養い、よりよい社会の実現に主体的に貢献しようとする人材を育成する。

評価の方針
<ul style="list-style-type: none"> ○ 生徒の肉体的な成長を見取り、よりよい生き方を求めていく努力を評価し、指導に生かす。 ○ 学習状況や道徳性に係る成長を見取り、生徒の成長を促すとともに指導の改善に努める。

各教科における道徳教育の目標	
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・国語での確に理解し適切に表現し、相互に伝え合い関係を構築する力を養う。 ・我が国の言語文化の担い手としての自覚と国語を尊重する態度を養う。
地理歴史	<ul style="list-style-type: none"> ・我が国及び世界の地理や歴史について理解し課題の解決に向け考察する力を養う。 ・平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質を養う。
公民	<ul style="list-style-type: none"> ・倫理・政治・経済の諸課題について理解し課題の解決に向け考察する力を養う。 ・平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者としての資質を養う。
数学	<ul style="list-style-type: none"> ・数学における基本的な概念や原理等の理解を深め事象を論理的に考察する力を養う。 ・数学的論拠に基づき判断し問題解決の過程を振り返り考察を深めようとする態度を養う。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象について観察・実験などを通して理解し科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に関わり感動する心や生命を尊重し環境保全に寄与する態度を養う。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持・増進や体力の向上の大切さを理解し実践する力を身に付ける。 ・粘り強くやり遂げる、ルールを守る、自己の責任を果たすなどの態度を養う。
芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術の特質や歴史的・文化的背景、多様性などを理解し尊重する態度を身に付ける。 ・美しいものや崇高なものを尊重し心豊かな生活を創造していく態度を養う。
外国語	<ul style="list-style-type: none"> ・外国語の背景にある文化を理解し他者を受容する寛容な心や国際貢献などの精神を養う。 ・外国語を用いて主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
家庭	<ul style="list-style-type: none"> ・家族の意義を理解し家庭や地域の生活を主体的に創造する力を養う。 ・自分の家庭や地域の生活の充実向上を図ろうとする態度を養う。
情報	<ul style="list-style-type: none"> ・情報と情報技術の適切な活用や情報モラルについての理解を深める。 ・情報社会に主体的に参画し適正な活動を行う基になる考え方や態度を身に付ける。
商業	<ul style="list-style-type: none"> ・商業に関する事象を理解し職業人としての倫理観や合理的・創造的に解決する力を養う。 ・職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会を構築しようとする態度を養う。

道徳教育の推進体制
<ul style="list-style-type: none"> ○ 校長の方針のもと、道徳教育推進教師を中心に指導体制を整え、全教師が協力して計画的に取り組む。 ○ 校内研修を充実させ、教師間の連携や家庭・地域との連携を図る。

各学年における道徳教育の目標		
第1学年	第2学年	第3学年
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分自身を律して規律ある生活を行うことができる力を養う。 ○ 授業を大切にし基礎・基本を身に付けようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他者に対し公正・公平に接し、よりよい集団をつくらうとする態度を育てる。 ○ 家庭学習を習慣付け、学力の向上に努めようとする意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 将来の生き方を考え、より高い目標に向けて努力しようとする態度を養う。 ○ 自己有用感をもつとともに社会に貢献しようとする態度を養う。

地域の期待・生徒の実態
<p>本校は、昭和53年に創立された釧路町に所在する唯一の道立高等学校であり、これまで様々な分野で活躍し社会に貢献できる人材を輩出しており、地域からは常に「地元を担う人材の育成」を期待されている。</p> <p>一方、生徒は、明るく素直で、遅く生きていく力を持っているが、自己肯定感が低く、忍耐力が弱く安易に諦める傾向が見られ、基本的な生活習慣や基礎学力が身に付いていない生徒も多い。また、規範意識や公德心が希薄な面も見られる。</p> <p>生徒の実態を踏まえ、生徒の良い面を伸ばし課題を解決しながら、地域の要請に応え得る人材を育成するための教育活動の展開が求められている。</p>

キャリア教育における道徳教育の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分の個性と適性の理解に基づき適切な進路設計と意欲的な挑戦をさせることを通して、粘り強く課題に立ち向かおうとする態度を身に付けさせる。 ○ インターンシップやボランティア活動等を通して、社会生活に必要な資質やマナーを身に付けさせる。 ○ 進路活動を中心に将来設計や情報活用、人間関係形成等の能力を育成し、望ましい勤労観・職業観に基づき自己の在り方生き方を考える力を身に付けさせる。

総合的な探究の時間における道徳教育の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域に関わる探究活動を通して、地域の自然や産業、社会等について理解し、地域への愛着を深めよりよい地域社会を創造しようとする態度を養う。 ○ 進路に関する探究活動を通して、自身と社会との関係を踏まえた人間としての在り方生き方を主体的に考え行動する態度を養う。 ○ ボランティア活動等の社会体験に関わる探究活動を通して、他者とのよりよい関係づくりや社会への貢献に主体的に取り組もうとする意欲を養う。

特別活動における道徳教育の目標	
ホームルーム活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 集団生活に必要な資質・能力に関する学習を通して、公正・公平・責任等について理解し実践しようとする態度を養う。 ○ よりよい学校生活の実現に向け課題を見だし、話し合いや合意形成を通して、自己の役割を認識し協力し合う態度を養う。
生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 異年齢の生徒同士で自主的・自発的に諸活動に取り組むことを通して、自主・自律・協力等の精神を養う。 ○ 生徒同士による協力した取組を通して、帰属意識を高めよりよい校風の確立と伝統の継承、発展を図ろうとする態度を養う。
学校行事	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全校等での行事を通して、自律、協力、勤労等の重要性を理解、実践する態度及びよりよい校風を確立しようとする態度を養う。 ○ 儀式的行事への参加を通して、厳粛で清らかな雰囲気や生活に折り目を付けることの重要性を尊重しようとする態度を養う。

特色ある教育活動や豊かな体験活動における道徳教育の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 職場体験活動や地域の行事への参加・参画など豊かな体験の場を設定し、勤労観・職業観や社会に貢献しようとする意欲を高める。 ○ 探究的な活動を通して、自ら課題を見だし、課題の解決に向け粘り強く取り組む姿勢を育む。

生徒指導における道徳教育の目標
<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師と生徒及び生徒相互の心の交流や生徒への適切な支援を通して、生徒の自己有用感や意欲をもって将来を展望しようとする態度を養う。 ○ 生徒自ら考え生徒同士で話し合う場面の設定等を通して、生徒自身がいじめの防止や安全の確保に取り組もうとする態度を養う。 ○ 学校全体で組織的に取り組み一貫した丁寧な指導を行うことを通して、一人一人の生徒の道徳性を育む。